令和5年度

2学年 数学科 年間指導計画・評価計画

担当 [飯田到・立河しおり]

	指導・評価の重点および工夫点					
教科の目標	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバッ ク		
数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を通しており育成することを目指す。 ① 数量や図形などについての基礎的な悪事を変更がなどについての基礎的な悪事を変更があるとを理解がある。 ② 数学的に表現・処理したり、数学がに表現・には、事象をが対けれる。 ② ないだいるようには、事象をが対して事象をのできるが、数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のである。 ③ 数学の活動の楽しさの数学のように生かそう。 ③ 数学の活動の楽しさの数学のである態度を表現するが、数学のとは、表現するが、数学のといる。 ③ 数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のでは、表現するが、数学のでは	し、個に応じた指導を充実させる。 ②夏季休業中に、学習教室を実施する。 ③夏季休業中に、基礎・基本のよりででである。 ③夏季休業中に、基礎・基本のよりででである。 のででである。 ④学びに前りでは、計算コント、の実施では、計算コンテストの実施ではいる。 ではいまがである。 野における ICT 機器を活用した、関業の振り返り等を通して、個々の生徒が学習を振り返る場面を設ける。	①既習事項を生かして個々で考え、新たな解答方法を見いだす。 ②論理的な表現力を身に付けるため、自分の意見を数学的な表現を用いてまとめ、説明する。 ③ICT機器を活用して他者と考え方を共有し、問題に対して様々な視点から考察する。	①授業につながりをもたせるために、授業のはじめに前時の復習を行う。 ②長期休業中の期間を、個々の生徒の学習を充実させる良い機会と捉え、学習教室を設定して学習する時間を確保する。 ③授業ごとの目標を明確にし、振り返りシートを通して目標の達成度を確認する。	①定期考査だけでなく各単元の 進度に応じた確認テストを実施 する。 ②ノート、ワーク、プリント等の 点検や、振り返りシートを通し て、生徒の学習状況を適切に評 価する。 ③個々の生徒に長期休業日の前 に、学習状況を伝えると明確に 、各自の学習の課題を明確に する。 ④ICT機器も活用しながら、課題 のやり取りを行う。		

◎単元(1~数十時間の学習内容のまとまり)は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

<u> </u>	T)	11100000	/ 101		$\frac{1}{2}$	
	W — +L11	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
月	月 単元・教材			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	4 第1章 「式の計算」 1節 式の計算 5 2節 文字式の利用	・デジタル 教科書 ・タブレット		乗法と除法の計算をすることができる。 ・具体的な事象の中の数量の関係を、文字を 用いた式で表したり、式の意味を読み取った	・文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。	は、考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・文字を用いた式を活用した問題解決の過
	6第2章 「連立方程式」 1節 連立方程式 2節 連立方程式の 利用	・デジタル 教科書 ・タブレット		・二元一次方程式とその解の意味を理解している。 ・連立二元一次方程式の必要性と意味およ	・連立二元一次方程式を具体的な場面で活用す	粘り強く考え、連立二元一次方程式につい て学んだことを生活や学習に生かそうと

7 3章 「1次関数」 1節 1次関数 2節 1次関数と 9 方程式 3節 一次関数の利用	・デジタル 19 教科書 ・タブレット	・変化の割合、傾き、切片の意味を理解して いる。 ・一次関数のグラフをかくことができる。 き	を相互に関連付けて考察し表現することがで る。 一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し	え、一次関数について学んだことを生活や 学習に生かそうとしている。 ・一次関数を活用した問題解決の過程を振
10第4章 「図形の性質と合同」 1節 平行線と角 112節 三角形の合同 3節 証明	・デジタル 19 教科書 ・タブレット	・多角形の角についての性質が見いだせるや	とができる。	
12 第5章 「三角形と四角形」 1節 三角形 12節 四角形	・デジタル 20 教科書 ・タブレット	・いろいろな三角形や四角形の定義と性質行を理解している。 り、 ・いろいろな図形の性質や条件などを、記号る	、証明を読んで新たな性質を見いだしたりす ことができる。 三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具 的な場面で活用することができる。	を実感して粘り強く考え、三角形や四角形 の基本的な性質について学んだことを生 活や学習に生かそうとしている。
2 第6章 「データの利用」 1 節 データの散らばり 2 節 データの傾向と 調査	・デジタル 8 教科書 ・タブレット	・コンピュータなどの情報手段を用いるな断 どしてデータを整理し箱ひげ図で表すこと ができる。 ・問題を解決するために、箱ひげ図からデー タの傾向を読み取ることができる。	傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判 することができる。 -	て粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ・四分位範囲や箱ひげ図を活用した問題解 決の過程を振り返って評価・改善しようと したり、多様な考えを認め、よりよく問題 解決しようとしたりしている。
3第7章 「確率」 1節 確率 評価材および記	・デジタル 7 教科書・タブレット	・同様に確からしいことの意味、確率の求め 方、確率の範囲について理解している。 ・簡単な場合について、樹形図や表などを用 いて、確率を求めることができる。	にして得られる確率の求め方を考察し表現す ことができる。 確率を用いて不確定な事象を捉え考察し表現 ることができる。 知考査、小テスト、振り返りシート	性を実感して粘り強く考え、不確定な事象 の起こりやすさについて学んだことを生